

経営比較分析表（平成28年度決算）

神奈川県 平塚市

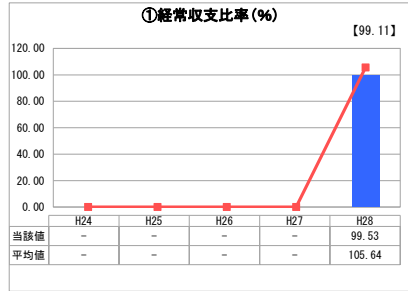
業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	農業集落排水	F3	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20㎡ ³ 当たり家産料金(円)
-	52.29	1.18	92.87	1,998

人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
257,373	67.82	3,794.94
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
3,032	1.24	2,445.16

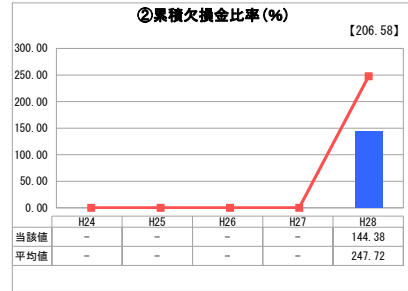
グラフ凡例

- 当該団体値（当該値）
- 類似団体平均値（平均値）
- 【】 平成28年度全国平均

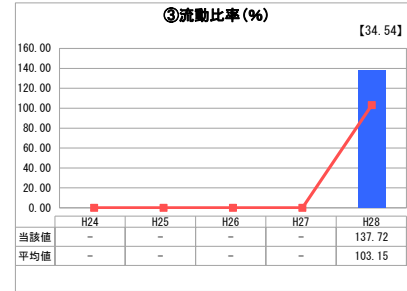
1. 経営の健全性・効率性



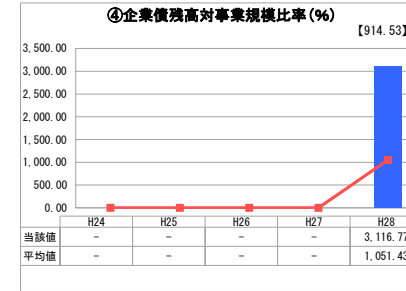
「経常損益」



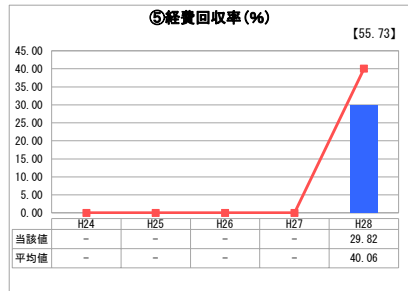
「累積欠損」



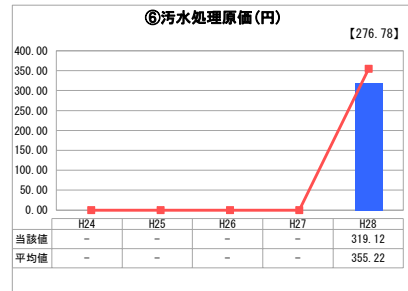
「支払能力」



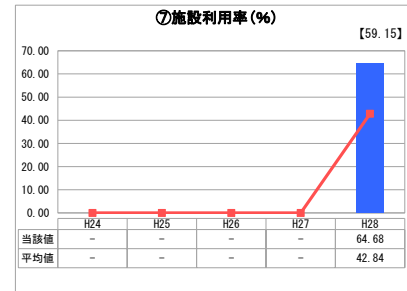
「債務残高」



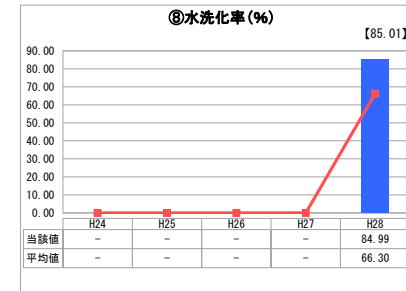
「料金水準の適切性」



「費用の効率性」

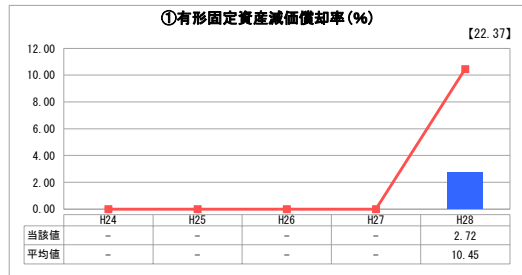


「施設の効率性」

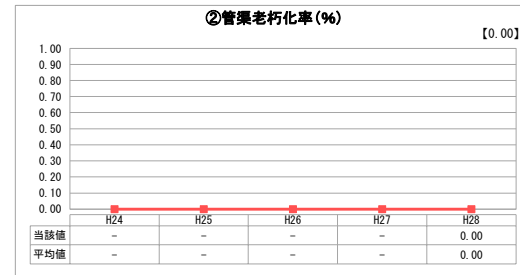


「使用料対象の捕捉」

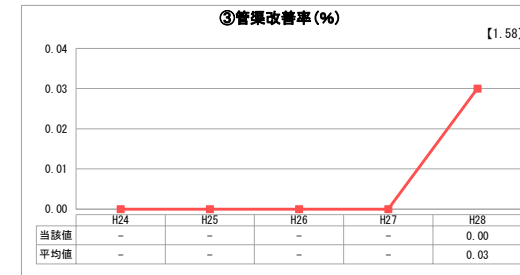
2. 老朽化の状況



「施設全体の減価償却の状況」



「管渠の経年化の状況」



「管渠の更新投資・老朽化対策の実施状況」

分析概

1. 経営の健全性・効率性について

経常収支比率については、全国平均は上回っており、類似団体平均値よりは低く、100%に満たない状況であることから、単年度収支としては赤字の状況です。

また、経費回収率については全国平均及び類似団体平均値の水準に届かない状況です。

一方で、施設利用率は全国平均及び類似団体平均値よりも高く、水洗化率も類似団体平均値より高い数値となっております。

企業債残高対事業規模比率については、全国平均及び類似団体平均値を上回っておりますが、平成27年度に整備が完了し、今後は企業債償還が進むことにより低下していくものになります。

以上のことから、現時点での指標からは厳しい経営状況であるといえます。今後は水洗化率を向上させ使用料収入を確保するとともに、維持管理費を縮減させることで経費回収率と経常収支比率の改善を図る必要があります。

2. 老朽化の状況について

平成18年度から整備を開始し、平成27年度に整備完了しているため、有形固定資産減価償却率については類似団体平均値及び全国平均よりも低い数値となっております。同様に、管渠老朽化率についてもまだ法定耐用年数を超える管渠がないため、老朽化に関しては現状では問題ありません。

全体総括

現時点の指標からは今後も厳しい経営状況が続くことが予想されます。そのため、水洗化率及び収納率の向上や経費回収率の改善を図る必要があります。

また、平成28年度から地方公営企業法の一部適用（財務規定等）を開始し、公営企業会計となりました。今後は損益計算書や貸借対照表等の財務諸表から状況を分析するとともに、平成29年度以降は経営比較分析表の各項目における推移も長期的に把握と分析を行い、経営の効率化を進めます。

※ 「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のみ類似団体平均値及び全国平均を算出しています。
 ※ 平成24年度から平成25年度における各指標の類似団体平均値は、当時の事業数を基に算出していますが、企業債残高対事業規模比率、管渠老朽化率及び管渠改善率については、平成26年度の事業数を基に類似団体平均値を算出しています。